

はぐくみ 『育』支援センター桃陽

- 「病気やけがで入院している子、からだや心の不調を訴えて学校を休みがちな子」『育』支援センター桃陽は、こんな子どもたちを支えます。

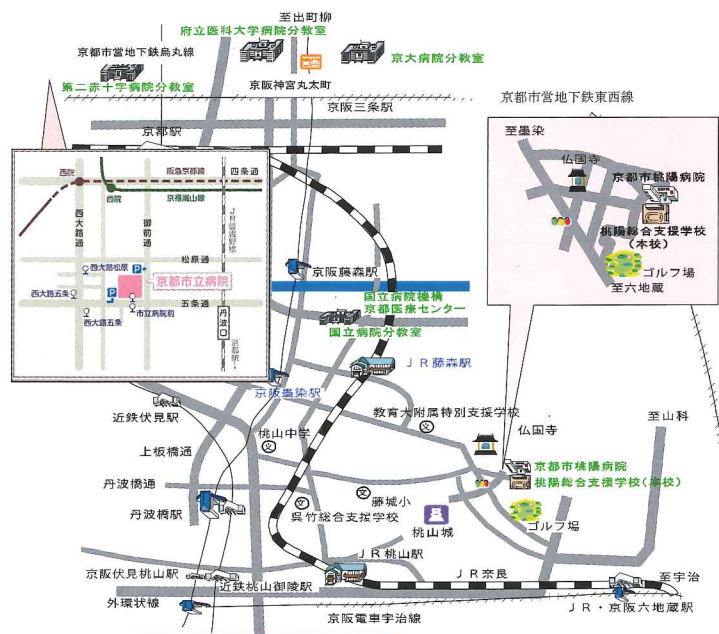
◎主な事業内容

保護者、学校の教職員の方々からのご相談に応じます。

- ・病院に入院している児童生徒の学習について
- ・心身症などで、学校に登校しにくい児童生徒への支援について
- ・退院後の学習や生活について
- ・京都市桃陽病院や桃陽総合支援学校の見学



など



本校・訪問教育 TEL:(075)641-2634 FAX:(075)641-2648

〒612-0833 京都市伏見区深草大亀谷岩山町 48-1

国立医療センター分教室 TEL・FAX:(075)643-8450

〒612-0861 京都市伏見区深草向畑町 1-1
(国立病院機構京都医療センター内)

京大病院分教室 TEL:(075)751-4362 FAX:(075)751-4277

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54
(京都大学医学部附属病院内)

府立医大病院分教室 TEL・FAX:(075)251-5877

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル櫛井町 465
(京都府立医科大学附属病院内)

第二赤十字病院分教室 TEL・FAX:(075)212-6145

〒602-8026 京都市上京区益座通丸太町上ル春帯町 355-5
(京都第二赤十字病院内)

京都市立病院分教室 TEL・FAX:(075)311-5333

〒604-8845 京都市中京区壬生東高田町 1-2
(京都市立病院内)

入学について

- 京都市内の病院に入院していること
- 本人・保護者の希望
- 主治医・病院の承諾
- 在籍している学校の校長先生の承諾

以上のことが必要です。

いずれもご希望の場合は本校にお電話下さい。

当校の情報は、インターネットでもご覧下さい。

URL : <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/toyo-y/>

E-Mail : toyo-y@edu.city.kyoto.jp

※この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ！

京都市の病弱教育

入院しながら学べます



京都市立桃陽総合支援学校

病気のときだからこそ
行うべき教育があります

桃陽総合支援学校

病気により入院療養している子どもが治療を受けながら安心して教育が受けられるように京都市が設置している総合支援学校（病弱教育）です。本校・5つの分教室・訪問教育があります。

※京都市では特別支援学校の名称を「総合支援学校」としています。

◇教科の学習◇

- 授業は、京都市内の小学生や中学生が使っている教科書で学習を進めます。
- 「習っていないところ」「わからないところ」から、学習を進めていくこともできます。

◇自立活動◇

- 自分の気持ちをコントロールすることや、他者とのかかわり方について学習します。
- すすんで病気治療に取り組む意欲を育みます。



本 校



- 心身症や不安障害、慢性疾患などで隣接する「京都市桃陽病院」に入院している小・中学生の教育を行います。
- 京都市桃陽病院と連携して子どもたちを支援します。
- 運動会や学習発表会などの行事もあります。

運動会



学習発表会



授業風景



分 教 室



- 病状や治療に合わせて、病院内の教室やベッドサイドで学習します。

● ICTを活用した取組

各教室にしながら、双方向のやりとりができるTV会議システムを使い、月に一度、特別活動で「分教室集会」を実施しています。

● 授業配信

TV会議システムで、本校からの授業配信を行っています。たとえば、実験や植物の観察など、分教室では実施が難しい学習は、本校と予定を合わせ、一緒に学習することがあります。



訪 問 教 育

- 京都市内の病院へ教員が訪問し、週に3回、1回2時間程度の授業を、病院内で行います。
- 前籍校との連携
 - 学習進捗の情報やプリント類を提供してもらって学習を行ったり、インターネットで在籍していたクラスと病室をつなぎ交流したりすることもあります。
- 学習内容
 - 本人の体調や学習の状況に合わせて授業を進めていきます。
 - 病気のこと、学校のこと、不安に思っていることを和らげる活動や退院後の生活について考える学習も行います。



高校生への学びの支援

- 入院中の高校生への学習の場や機会の提供を各病院と連携して行います。
 - 自主学習をしながら、わからないところを教員や学生ボランティアに質問します。
 - 他の入院中の高校生と同じ教科を勉強し、互いに教え合ったりすることもあります。
 - 時には学生ボランティアや入院中の高校生同士で、情報交換（日常や大学生活等）をして交流を深めています。